

## 日本では乳がん罹患率が年々増加し、女性のがんの第1位になっています。

現在、生涯罹患リスクは10.6%で、9人にひとりの女性が生涯で乳がんにかかるとされています(図1)。

乳がんになりやすい年齢をみると、大腸がん・胃がん・肺がんは年齢があがるにつれ増えていきますが、乳がんは30歳代後半から増えてきて、40歳代後半と60歳代前半にピークがあります(図2)。

罹患率は高いですが、死亡率は第5位であり比較的予後良好ながんです(図3)。

早期に見つければ生存率は高く(図4)、治癒は可能ですので、早期発見、早期治療が大切です。

そのためには**定期的な検診受診が非常に重要です。**

図1 がん罹患率(2017年データに基づく)

部位	生涯がん罹患リスク(%)		何人に1人か	
	男性	女性	男性	女性
全がん	65.5%	50.2%	2人	2人
胃	10.7%	4.9%	9人	20人
直腸	3.8%	2.2%	26人	45人
大腸	10.3%	8.1%	10人	12人
膵臓	2.6%	2.5%	39人	41人
肺	10.1%	5.0%	10人	20人
乳房(女性)		10.6%		9人
子宮		3.3%		30人
子宮頸部		1.3%		75人
子宮体部		2.0%		51人
卵巣		1.6%		62人



図 2. 罹患のピークは 40～60 歳代

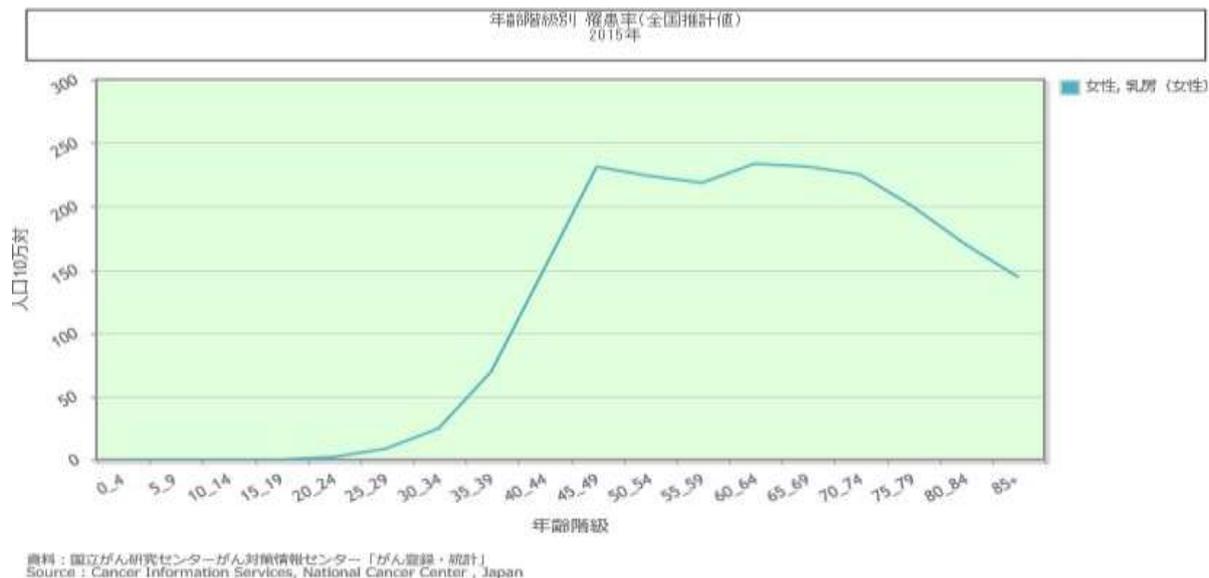


図 3. 死亡率

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

図 4. 乳がんのステージ別生存率

ステージ(病期)	5年生存率	10年生存率
I期	95%	89%
II期	88%	76%
IIIa期	76%	65%
IIIb期	66%	47%
IV期	34%	20%



「国立がん研究センター がん情報サービス」より一部抜粋